



# 大西さとし 市議会だより

2017. 4  
No.024

## 高松市議会 平成 29 年

### 第1回(3月)定例会の報告



#### ◆第1回(3月)定例会

高松市議会は、3月2日から3月23日までの22日間の日程で、平成29年第1回定例会(3月議会)を開催し、平成29年度一般会計補正予算など49議案を可決し、継続審査としていた議員提出議案2件を否決しました。

また、陳情4件のうち、1件を採択、2件を不採択、1件をみなす不採択としたほか、人事案件4件に同意しました。

#### ◆待機児童対策

##### ○待機児童増加の主な理由

- ・共働き世帯の増加や核家族化の進行などにより、入所申込児童数の増加傾向が続いている中、保育施設の整備等により、施設の増加に伴う認可定員数は増えているものの、受け皿が不足している状態にあり、一層の施設整備等の促進が必要となっているほか、新たに追加して受け入れる児童に見合う保育士の確保が難しい状況にあることから、受入れに制約が生じています。
- ・また、平成27年4月から、厚生労働省が定める待機児童の定義に、それまでの「就労」や「家族の介護」に加えて「保護者の求職活動中」が含まれたことも増加の要因となっています。

##### ○待機児童の状況

- ・昨年11月18日の県公表では、昨年10月1日現在の保育所等利用待機児童数は519人であり、前年同期の407人と比べ、112人増加しております。
- ・その内、本市は505人で前年同期の393人と比べ112人増加しており、年度当初の4月1日現在における321人からも184人が増加している状況であります。
- ・また、本年4月入所の利用申込者の状況は、前年度に比べ、350人程度増加の9,600人余りであり、4月時点での待機児童は200人を超える見込みとなっています。

##### ○待機児童対策

本市では、認定こども園への移行や保育所の創設等により、平成30年度までに、年度を通じて待機児童の解消を図るため、待機児童の多い、0、1、2歳児の定員を600人程度確保するよう取り組んでいます。

このうち、28年度当初には40人程度を確保したほか、29年度当初には新たに370人程度、30年度当初にはさらに240人程度の受入枠を増加させる予定です。

この結果、合わせて650人程度の増加となり、計画を上回る定員を確保できる見込みであることから、30年度に待機児童は発生しないものと予測しています。

【県内の年齢別待機児童数(平成28年10月1日現在)】

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児～	計
高松市	217人	157人	87人	32人	12人	505人
坂出市	5人	1人	0人	0人	0人	6人
宇多津町	3人	1人	2人	0人	0人	6人
まんのう町	2人	0人	0人	0人	0人	2人
合計	227人	159人	89人	32人	12人	519人

※3歳未満児の割合……91.5%(519人中、475人)

成28年11月18日<香川県 子育て支援課 保育所グループ>

「保育所等利用待機児童数(年度途中)-平成28年10月1日現在-」より

これからも、市民の皆様が、夢や希望を抱き続けることが出来るよう、全身全霊で取り組んで参る所存でありますので、引き続きのご支援、ご協力、また叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。

出典：平

大西 智

# 平成29年度当初予算のポイント

## ◆平成29年度当初予算の特色

### “つながり・結ぶ” 人・まち交流創出予算

- 子育て世代や障がい者など、様々な人々との「つながり・結びつき」を深めるとともに、国内外の人々との「交流」を促進し、交流の場となる「まちの創出」を図る予算。
- 一般会計の当初予算規模は、1,637億5千万円。

#### ① 一般会計予算規模は、対前年度比15億円5千万円(▲0.9%)の減

- ・ まちづくり戦略計画掲載の重点取組事業の積極的な推進を始め、少子化に対処するための施策などが増となるものの、こども未来館や屋島競技場の整備完了などの減により、前年度より15.5億円(▲0.9%)の減。

#### ② 重点取組事業は、127事業・約416億円を計上

##### (1) 健やかにいきいきと暮らせるまち

- ・ 妊娠期からの子育て世代包括支援事業、こども未来館わくわく体験事業、若者育成支援推進事業、高齢者見守り事業、障がい者地域生活支援拠点支援事業、新病院整備事業 など

##### (2) 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち

- ・ 高松産ごじまん品6次産業化等支援事業、伝統的ものづくり支援事業、高松国際ピアノコンクール事業、サンポート高松トライアスロン大会開催事業、障がい者スポーツ推進事業、国内・海外誘客促進事業、MICE振興事業 など

#### ② 一般会計プライマリーバランスは4年連続の赤字

- ・ プライマリーバランスは、まちづくり戦略計画掲載事業の積極的な推進などに伴う市債借入額の増加により、28年度に引き続き4年連続の赤字(▲約75.0億円)
- ・ 市債借入額は、危機管理センター(仮称)等などの大型建設工事の進捗や臨時財政対策債(約11.1億円)の増により、28年度当初予算比で、約7.0億円の増  
 ≪ プライマリーバランス=公債費-市債借入額 ≫

#### ③ 一般会計では、依然として一般財源不足が生じ、基金を取り崩す状況

- ・ 一般財源不足は28億円(28年度:38億円)となり、財政調整基金の取崩しで対応
- ・ 市税が約13億円増となるものの、地方交付税が約29億円減となることにより、充当可能一般財源総額は、28年度当初予算比で、約16億円の減

## ◆予算規模

### 【一般会計】

- まちづくり戦略計画掲載の重点取組事業の積極的な推進を始め、少子化に対処するための施策などが増となるものの、こども未来館や屋島競技場の整備完了などの減により、前年度より15.5億円(▲0.9%)の減。

(百万円・%)

29年度 当初	28年度 当初	増減額	増減率
163,750	165,300	▲1,550	▲0.9

## 【特別会計】

- 保険給付費の増などにより、介護保険事業特別会計が、約19.1億円(5.1%)の増、開催レースの変更などにより、競輪事業特別会計が約24.4億円(▲16.4%)の減

(百万円・%)

29年度 当初 (10会計)	28年度 当初 (10会計)	増減額	増減率
113,207	114,388	▲1,181	▲0.9

## 【企業会計】

- 新病院整備事業の進捗により、病院事業会計が約82.6億円(92.7%)の増、香東川流域下水道の移譲に伴う資産購入費の皆減などにより、下水道事業会計が約65.4億円(▲23.3%)の減

(百万円・%)

区 分	29年度 当初	28年度 当初	増減額	増減率
病 院	17,180	8,917	8,263	92.7
水 道	14,634	14,322	312	2.2
下 水 道	21,592	28,134	▲6,542	▲23.3

## 【全会計】

(百万円・%)

区 分	29年度 当初	28年度 当初	増減額	増減率
合 計	330,363	331,061	▲698	▲0.2

## ◆一般財源の状況(一般会計)

- 一般財源不足は28億円(28年度:38億円)となり、財政調整基金の取崩しで対応  
 ○ 市税が約13億円増となるものの、地方交付税が約29億円減となることにより、充当可能一般財源総額は、28年度当初予算比で、約16億円の減

≪ 充当可能一般財源とは…用途が特定されず、どの経費にも自由に充当できる収入 ≫

(百万円・%)

区 分	29年度 当初	28年度 当初	増減額	増減率
充当可能 一般財源(A)	96,206	98,803	▲1,596	▲1.6
所要 一般財源(B)	99,006	101,603	▲2,596	▲2.6
一般財源不足額 B-A	2,800	3,800	▲1,000	▲26.3

# 活動日記



1 / 20  
下関市「みのりの丘  
ジビエセンター」 視察



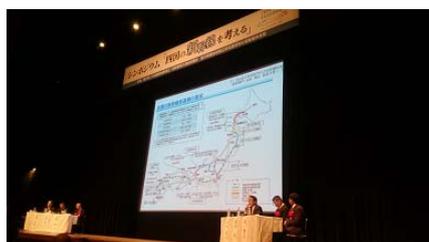
1 / 23,24  
建設水道常任委員会  
太田市・柏市 視察



1 / 29  
木太地区  
第15回グランド・ゴルフ大会



1 / 31  
第19回香川県市議会議長会  
議員研修会



2 / 8  
シンポジウム  
「四国の新幹線を考える」



2 / 12 高松北ライオンズクラブ  
第11回 檀紙ファイターズ旗争奪  
児童ソフトボール大会



2 / 17 高松市  
瀬戸・高松  
広域連携中枢都市圏講演会



2 / 28  
木太地区  
交通事故防止緊急キャンペーン



3 / 15  
木太北部小学校  
第27回卒業証書授与式



3 / 18  
木太保育所  
就学する子どもを送る会



4 / 11  
玉藻中学校  
入学式



4 / 13  
木太北部幼稚園  
入園式

発行:大西さとし後援会

<http://www.ohnishi-satoshi.jp>

◆後援会連絡所

〒761-8550

高松市室新町 973-1 高松電気ビル 5階

TEL(087)880-7772 FAX(087)880-7783

◆後援会事務所

〒760-0080

高松市木太町 1849-1-602

TEL 090-8696-1730

